“ふじのくに美しく品格のある邑”から季節の情報を発信

季刊誌「むらのおと」

むらのおと

vol.12
2016・冬

特集

冬の日向に咲く邑の笑顔

- 下大沢（下田市）
- 日野 元気な百姓達の里（南伊豆町）
- 十足（伊東市）
- 清沢（静岡市）
- 大代（静岡市）
- 殿（藤枝市）

小谷あゆみの「むらレポ」
ほっと龍山（浜松市天竜区）
インタビュー
中郡地区（浜松市）
大塚地区（浜松市）
邑ジャーナル
イベントカレンダー

ふじのくに 美しく品格のある邑(むら)って？

日本一高い富士山や日本一深い駿河湾など、変化に富んだ地形と清らかな水に恵まれた静岡県は、農作物や水産物の品目数において全国トップクラス。この豊かな食材を生産する県内の農山漁村には、棚田や茶畑といった美しい風景に加えて、古くから伝わる文化や伝統が息づく地域それぞれの「宝（資源）」があります。

「ふじのくに美しく品格のある邑」とは、地域の宝を大切に思い、それを守り、次世代につなげていこうとする人々が集まって、真摯に活動を行う理想の農山漁村として「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合が認定した地域（邑）です。平成24年度に県内35市町の45地域が認定されたのを皮切りに、毎年登録数が増え続け、平成28年10月現在で104地域が名を連ねています。

「ふじのくに美しく品格のある邑」は、深い山々に囲まれた山間地の集落から、周囲が市街地化された農園まで、その個性はさまざまです。
周辺環境だけに留まらず、規模の大小、文化や歴史、特産品や名物など、104の地域にはそれぞれに特徴があり、県全域で多彩で多様な魅力を形成しています。

また、そこで活躍する人々も魅力的です。自分たちの地域を愛し、活動に誇りを持つ人たちの自信に満ちた姿は、訪れる人にとって、忘れられない「美しい思い出」となるはずです。

「ふじのくに美しく品格のある邑」の詳しい情報は連合のホームページにあります。魅力的な場所、地域の特産品、参加できるイベント情報なども掲載されているので、まずは気になる邑を訪ねてみましょう。

登録104邑 〈平成28年12月現在〉

●「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは

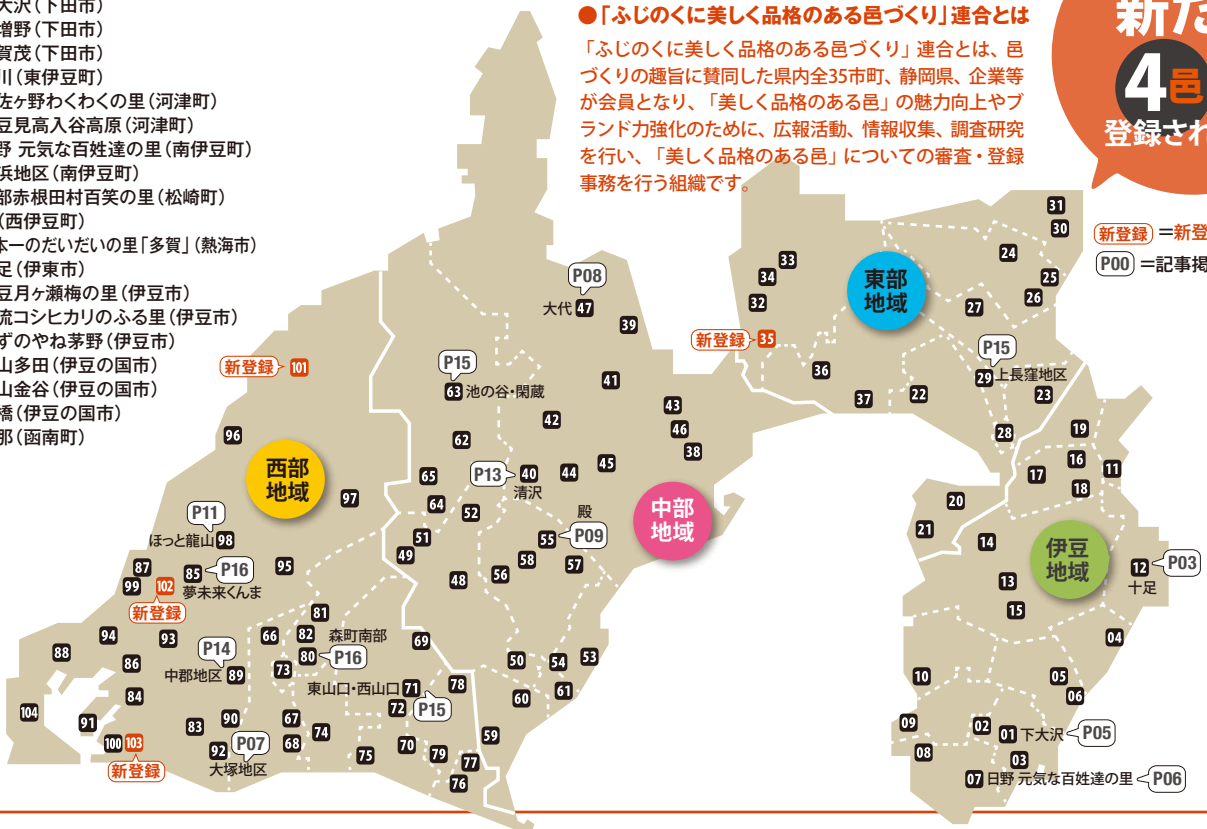
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合とは、邑づくりの趣旨に賛同した県内全35市町、静岡県、企業等が会員となり、「美しく品格のある邑」の魅力向上やブランド力強化のために、広報活動、情報収集、調査研究を行い、「美しく品格のある邑」についての審査・登録事務を行う組織です。

平成28年9月 新たに 4邑が 登録されました

新登録＝新登録邑
P00＝記事掲載ページ

伊豆地域

01 下大沢（下田市）
02 加増野（下田市）
03 大賀茂（下田市）
04 大川（東伊豆町）
05 上佐ヶ野わくわくの里（河津町）
06 伊豆見高入谷高原（河津町）
07 日野 元気な百姓達の里（南伊豆町）
08 伊浜地区（南伊豆町）
09 石部赤根田村百笑の里（松崎町）
10 中（西伊豆町）
11 日本一のだいだいの里「多賀」（熱海市）
12 十足（伊東市）
13 伊豆月ヶ瀬梅の里（伊豆市）
14 桂流コシヒカリのふる里（伊豆市）
15 いずのやね茅野（伊豆市）
16 韮山多田（伊豆の国市）
17 韮山金谷（伊豆の国市）
18 浮橋（伊豆の国市）
19 丹那（函南町）



むらのおと

vol.12
2016・冬

CONTENTS

特集

冬の日向に咲く邑の笑顔

12十足（伊東市）――― 03
01下大沢（下田市）――― 05
07日野 元気な百姓達の里
（賀茂郡南伊豆町）――― 06
92大塚地区（浜松市）――― 07
47大代（静岡市）――― 08
55殿（藤枝市）――― 09
邑びとvoice ――― 10

小谷あゆみの「むらレポ」――11
98ほっと龍山（浜松市天竜区）

インタビュー
40清沢（静岡市）―― 13
89中郡地区（浜松市）――― 14

邑ジャーナル
29上長窪地区（駿東郡長泉町）―― 15
63池の谷・閑蔵（榛原郡川根本町）
71東山口・西山口（掛川市）
80森町南部（周智郡森町）――― 16
85夢未来くんま（浜松市天竜区）
日本で最も美しい村連合フェスティバルinまつざき

イベントカレンダー ―― 17

表紙／「絶景を背景に」（三島市）

箱根西麓の土壌は深く根を張るだいこん栽培に適した県下有数の産地。毎年11～12月にかけて行われる、たくあん漬けを作るための“だいこん干し”は三島の冬の風物詩としても知られ、雪を頂いた富士を背景に、写真愛好家も多く訪れる絶景スポットとなっています。（H27フォトコン応募作品）

「星空万華鏡」／石部赤根田村百笑の里（賀茂郡松崎町）

76カカシ祭りの里 新野（御前崎市）
77朝比奈（御前崎市）
78千框の棚田（菊川市）
79嶺田用水の里（菊川市）
80森町南部（森町）
81天方（森町）
82一の宮の里（森町）
83地域いきいき共生!
恩地町環境みどり会（浜松市）
84和地ふるさと会（浜松市）
85夢未来くんま（浜松市）
86銅鐸と水田のふるさと
中川（浜松市）
87大好き渋川（浜松市）
88三ヶ日みかんの里（浜松市）
89中郡地区（浜松市）
90中ノ町地区（浜松市）
91村櫛地区（浜松市）
92大塚地区（浜松市）
93都田地区（浜松市）
94竜ヶ石山～西四村の里～（浜松市）
95いっぷく処 横川（浜松市）
96そばの里づくり佐久間（浜松市）
97はるの山の楽校（浜松市）
98ほっと龍山（浜松市）
99ひずるしい鎮玉（浜松市）
100らびりんすゆうとう（浜松市）
101水窪地区（浜松市）新登録
102久留女木の棚田新登録
～竜宮小僧伝説の邑～（浜松市）
103美竹林と
極旨野菜の里（浜松市）新登録
104新所水とみどりの
プロジェクト（湖西市）

46布沢（静岡市）
47大代（静岡市）
48神座鵜網（島田市）
49越地（島田市）
50湯日（島田市）
51抜里（島田市）
52ささま（島田市）
53中の島（焼津市）
54西島（焼津市）
55殿（藤枝市）
56本郷（藤枝市）
57岡部本郷（藤枝市）
58葉梨山水会（藤枝市）
59菅山原（牧之原市）
60坂部（牧之原市）
61吉田たんぼ（吉田町）
62徳山（川根本町）
63池の谷・閑蔵（川根本町）
64地名（川根本町）
65けっこい瀬平（川根本町）

西部地域
66敷地村（磐田市）
67とんぼの里 岩井（磐田市）
68田原地区（磐田市）
69茶文字の里 東山（掛川市）
70高天神の里（掛川市）
71東山口・西山口（掛川市）
72掛川天守をのぞむ里（掛川市）
73源氏とひまわりの里（袋井市）
74諸井里山の会（袋井市）
75とうもんの里
（掛川市・袋井市・磐田市）

東部地域
20寿太郎みかんのふるさと
西浦（沼津市）
21戸田（沼津市）
22浮島（沼津市）
23三島箱根西麓地区（三島市）
24西澤水系（御殿場市）
25沼田口マンチック街道（御殿場市）
26二子湧水の里（御殿場市）
27パノラマ遊花の里（裾野市）
28久米田（清水町）
29上長窪地区（長泉町）
30所領（小山町）
31金太郎産湯の里湯船（小山町）
32柚野の里（富士宮市）
33白糸の里（富士宮市）
34南条の里（富士宮市）
35内房の里（富士宮市）新登録
36岩本山とかりがね堤を
守る邑（富士市）
37富士山のふもとの郷を
守る邑（富士市）

中部地域
38原・新丹谷（静岡市）
39有東木（静岡市）
40清沢（静岡市）
41大沢地区（静岡市）
42奥藁科・大川（静岡市）
43清水区西里（静岡市）
44水見色（静岡市）
45奥長島（足久保）（静岡市）

草刈りを終えて充実した笑顔を見せる「十足農地と水辺の会」のメンバーとJA荻支店のみなさん。

特集

冬の日向に咲く邑の笑顔

木枯らしに耐えて
健気に咲く花があります。
でも、本当に人の心を癒やすのは
邑にあふれる満面の笑顔。
そんな笑顔に会いたくて
邑の陽だまりを探しに出かけました。

伊東市内で田園が残るのは、この十足地区と南の奥地に隣接する池地区くらいといいます。

紅のヒガンバナが郷愁を誘うのどかな里山の原風景

田んぼの畦に群生するヒガンバナは、9月下旬から2週間ほどが見頃です。

邑番号 12

十足
とうたり

伊東市十足

●車／東名高速沼津IC、新東名高速長泉沼津IC→国道136号→県道12号線中伊豆バイパス経由→中伊豆BP入口交差点県道351号線へ

●電車・バス／JR伊東線伊東駅から東海バス・十足広場行き→「竜雲寺前」下車

❶広範囲にわたる草刈り作業は大変ですが、地元JA職員さんの協力も大きな力になっています。
❷用水路整備をする邑人たち。実は標高280mにあるこの地域には水源が少なく、水が少ない時には、北西部にある松川湖の上流からポンプアップしています。

労を惜しまぬ細やかな配慮で、より美しく鮮やかな花に

細い畝が走る長閑な田んぼの中を、竹かごを背負った邑人が農作業に向かう。温泉観光とリゾートの街・伊東市のほぼ中央に位置する十足は、そんな素朴な里山の原風景が今なお残る貴重な邑。現在は市が設定したウォーキングコースにも含まれ、四季折々の田園景色が来訪者の心を和ませていますが、中でもヒガンバナが鮮やかな紅色を添える9月下旬頃の情趣は格別です。

もちろん、近隣集落で水田が消えゆく中、昔と変わらぬ景観を守り続けるのは、容易なことではありません。もともとこの地域は、大室山の噴火で生まれた溶岩台地。そこに粘土を運び込んで築き上げた水田は、水の管理が難しいのに加え、個々の面積が小さいため大型機械を導入できず、高齢化に伴う耕作放棄地が年々増加していました。そこで、邑では平成19年に『十足農地と水辺の会』を発足。地域のみんなで力を合わせ、遊休農地の雑草刈りや水路の整備などに取り組み始めました。数年前からは「1支店1協同活動」を推進する地元JAの協力も得て、環境維持に努めています。

そして、十足をより魅力ある里にするために邑人たちが着目したのが、ヒガンバナです。この里では、もともと畦道などに多くのヒガンバナが自生していましたが、さらに数を増やそうと植栽も開始。除草剤をまくと花が小ぶりで色も薄くなってしまうため、夏草除去には草刈り機を用い、さらに花芽を傷つけないよう刈る時期にも注意を払うなど、大切に育てられたヒガンバナの街道は、邑を一段とノスタルジックに彩ります。

変わらずにあり続けるのは、変わるよりも大変なこと。それでも、後世に残したい、日本人の心の故郷がここにはあります。

下大沢では、国の農業構造改善事業により昭和40年代にミカン栽培が開始。下田で一番高いという山の上からは、ミカン園の先に伊豆七島まで見渡せます。

団結力とユーモアで逆境を吹き飛ばす「天空の里」

今冬12月の地域防災訓練は自衛隊のヘリコプターも出動して実施。

邑人の大半がチェーンソーを所有しており、周辺の木々は自分たちの手で伐採。

邑番号 01

下大沢

しもおおさわ

下田市大沢

●車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから国道414号→県道118号線を約130分

●電車・バス／伊豆急行下田駅から東海バス・大沢口行き「大沢口」下車

❶昭和58年に神明神社の神事を拡大させて始まった秋祭りは、神輿のほか、焼きそばやおでん、射的などの夜店で盛り上がります。
❷秋祭りでは、出不精になりがちな高齢者にも参加してもらおうと、75歳以上の大先輩に無料で夕食を振る舞う企画も開始。
❸今は他所で暮らす子供家族も帰省する夏の盆踊り大会は、孫たちに下大沢の楽しい思い出を残せるよう、工夫しています。

孤立集落解消へ、区民の力で希望のヘリポートを造設

『サルも見ているあなたのうんてん』。九十九折の狭い山道に点在するユーモラスな交通安全看板が、ドライバーの心を和ませます。下大沢は、下田市の奥山の中腹、海抜150mほどの高所に広がる「天空の里」。実は、峠の里として約500年前から存在する歴史ある集落です。

「昔は生活するのが精一杯で楽しみが何もなかった」という下大沢の邑おこしは、昭和44年に若手有志が結成した『山里会』が旗手となり始まりました。どんど焼きの復活や盆踊り大会の開催、旦那衆の神事だけだった秋祭りも、誰もが楽しめるイベントに成長。自主防災訓練や清掃なども含め、地域みんなの参加を促す行事を小まめに計画し、地道に継続しています。そして、この積み重ねこそが、人口減少と少子高齢化が年々深刻になる中で、邑人たちの絆を深め、明るく前向きに生きる源になっているのです。

その真価が発揮されたのが、自らの手によるヘリポートの造設です。近年、国内では大規模な自然災害が多発していますが、生命線は狭い車道1本のみという邑では、落石や土砂崩れで道が断たれると孤立集落になる可能性が高く、その対策が急務でした。そこで、平成20年頃から区で働きかけ、まず衛星電話と携帯無線機、AEDを導入。さらに、市の助成を受けながらみんなで一致団結して山頂の木を伐採し、今秋ついに小型ヘリが着陸できるヘリポートを造り上げたのです。

もちろん、今後の維持管理は大変ですが、「空の道」の完成は、邑人たちに大きな自信と希望を与え、結束をより強固にしたに違いありません。

これからも新たなプロジェクトに挑戦したいという下大沢。天空の里の未来は視界良好です。

南伊豆の玄関口に広がる幸せの黄色い花畑

難しい栽培条件の中で少しでも長く美しく咲くように尽力

邑番号 07

日野 元気な百姓達の里

ひんの げんきなひゃくしょうたちのさと

賀茂郡南伊豆町湊 日野交差点そば

●車／東名高速沼津ICまたは新東名高速長泉沼津ICから国道136号を南へ約160分（マーガレットライン沿い）

●電車・バス／伊豆急行下田駅から東海バス・石廊崎行き「日野」下車

伊豆半島最南端に位置する南伊豆町は、変化に飛んだ神秘的な海岸景観と、450年以上の歴史を持つ下賀茂温泉がある温暖な町。下田市から向かえば、ちょうど石廊崎へ回る沿岸道と温泉街に続く内陸道の分岐点にある日野（ひんの）地区は、まさに南伊豆町の玄関口。ここに広がる花畑では毎年、12月半ばから3月末までの早春は菜の花、真夏のひと月はヒマワリが一面に黄色い花を咲かせ、正月と盆の帰省家族や観光客たちを華やかに歓迎してくれます。

この『元気な百姓達の花畑』は、今でこそ町自慢の観光スポットのひとつですが、もとは稲刈り時でも膝まで泥に沈むほどの湿田地。稲作も難儀な土地は、農家の高齢化と後継者不足による離農が進み、葦などが生い茂る荒れ地になり果てていました。そこで南伊豆町農業振興会が立ち上がり、平成4年、『元気な百姓祭』と名付けた耕作放棄地の整備事業を開始。最初は草を刈るだけだった畑に肥料を入れ、3年目から景観植物として菜の花の栽培を始めました。

菜の花は連作障害が出やすく、数年前に抵抗性品種に切り替えるまでは苦労も少なくなかったと言います。それでも、技術を駆使して育てた菜花はキレイで開花期間が長く、秋に種まきを手伝った地元小中学生の卒業式まで元気よく咲き、子どもたちの門出を祝っています。また、平成10年からは下賀茂温泉の青野川沿いを彩る河津桜とコラボレートした『みなみの桜と菜の花まつり』も開催。毎年20万超の来訪者を呼び、町全体の活性化に貢献しています。

黄色には、気分を明るく元気にする効果があるとか。『百姓達の花畑』は、来訪客だけでなく、邑人たちにも幸せと希望をもたらしていることでしょう。

❶～❹「道の駅 下賀茂温泉湯の花」の看板施設としてにぎわう「農林水産物直売所」は、もとは農業振興会の有志がさらなる地域活性化の拠点として開設。直売所では現在、地元を中心に600名を超す生産者が出荷。新鮮で品質も良い上に安い農産物は、地域住民の利用が多く、地産地消に貢献。

毎年2月中旬から1か月間、『みなみの桜と菜の花まつり』を開催（2017年は2月10日～3月10日まで）。ここでは花畑の中に入るのも、花の摘み取りもOK。「花を観て、触れて、存分に楽しんでほしい」というおおらかなもてなしの心が魅力です。

とても小さな邑に息づく花と歴史と愛郷のこころ

ささやかな幸せと美しさを紡いでいく

浜松市の東端、天竜川と安間川に抱かれた南北500メートル、東西1キロほどの小さな地で、ホウレン草やゴボウ、エビ芋などが盛んに栽培されている大塚地区。ここで邑の景観を美しく保とうと活動を続ける団体が、わずか110世帯の大塚地区の住民たちの手によってつくられた、「大塚愛郷会」です。

農家だけでは行き届かなくなった農道の周辺の草刈りや、少しばかり出てきた耕作放棄地を協力して綺麗にしている愛郷会は、名前の通り郷土愛、そして助け合いの精神によって成り立っています。

地道な活動により耕作放棄地は花畑へと姿を変え、春には愛らしいポピーが、秋には可憐なコスモスが咲き誇るようになりました。誰でも摘んで持ち帰ることができる花々は、道行く人の目を楽しませるだけではなく、地域住民の暮らしにささやかな幸せをもたらしています。

同会では農作物も栽培していて、種まきや収穫には地域の小学生やスポーツ少年団も参加します。子どもたちにとっては、農作業の楽しさを知るとともに、大人たちの愛郷の心に触れる貴重な学びの場です。

大塚地区は、日本初の旅客機製造に成功した福長浅雄の出生地でもあり、地区内に記念碑があります。また、1万5千本もの花木が植わった「みどり〜な」には、空襲を生き延びたプラタナスが、戦後復興の象徴として保護されています。この小さな邑ではこれからも、美しい景観と歴史と郷土愛が、人々の手によって紡がれていくことでしょう。

❶地元の小学生や浜松市内のスポーツ少年団も参加する農業体験。収穫物は皆で分け合い、喜びを分かち合います。
❷地区内にある市の緑化推進センター「みどり〜な」は、500種、15,000本もの花木にあふれる、地域住民の憩いの場です。

邑番号 92

大塚地区

おおつかちく

浜松市南区大塚町1876-1
（浜松市緑化推進センター「みどり〜な」）

●車／東名高速浜松ICから約10分
新東名高速浜松浜北ICから約45分
●電車・バス／JR浜松駅から遠鉄バス「北寺島・大塚行き」で20分、「緑化推進センター」下車、徒歩3分

大塚地区出身の福長浅雄が製造に成功した、日本初の旅客機。小さな邑で偉業を成した先人は、邑人たちの誇りです。

大塚愛郷会の活動により、かつての耕作放棄地は花畑に。春と秋に咲く花々は、今や地域の風物詩です。

お茶とともに暮らしてきた邑の人たち。雨降りの茶畑もしっとりと美しい景色です。

茶畑かおる天空の里 若いパワーで邑に活気を

邑番号 47

大代
おおじろ

静岡市葵区梅ケ島

●車／新東名高速新静岡ICから県道27号線・29号線を北へ約60分

●電車・バス／JR静岡駅からしずてつジャストラインから約80分「六郎木」下車、徒歩約40分

❶邑の古民家を借り、学生たちは自炊しながら活動しています。
❷学生の活動の一面。村のマップを作成し、一人ひとりがその日に訪問した家と活動した内容を付箋で貼り付けています。
❸邑の仏事に参加した学生も。お供え物を分配しているところ。

大学との協働開始当初から学生たちを受け入れてきた志村秀範さん（右）と、邑への愛情が強く街から戻って来た息子の吉紀さん。

静大農学部とタッグ 魅力ある大代つくろう

標高700メートル超。梅ヶ島温泉へつづく県道をはるか300メートル下に見下ろして、美しく刈り込まれた茶畑が霧に濡れています。跡継ぎがなく手放されてしまった茶畑も多いのですが、邑人が肩代わりして、荒らさないようにしているのです。それでもやはり、新たな若い人の手が欲しいところ。そんな中、静岡大学農学部の学生と邑とが手を組んで、住民を増やそうとするプロジェクトが動き出そうとしています。

事の始まりは、一社一村しずおか運動による同学部との協働活動。学生たちが農業体験のため邑人たちのもとに通い始めて10年になります。これまでに訪れた延べ700人ほどの学生は、農作業だけでなく、梅ヶ島の運動会に参加したり、卒業生がお盆に邑で集まってお祭りを主催したりと、活気を呼び戻しています。中には、邑に下宿しながら大学院に進むほど、この地に魅せられた学生もいたそうです。

この協働活動を全面的に支えてきた「梅ヶ島 志村農園」では今年、先代から息子の志村吉紀さんに代替わりしました。市内で会社員をしていた吉紀さんは8年前に邑へ戻り、しいたけ狩りやバーベキューで農園に人を呼びこんだり、高地であることを利用して真夏に出荷できるトマト栽培を新たに始めるなど、邑を盛り上げようと奮闘しています。「魅力ある大代に、いかに若い人が転入して来やすい環境をつくるか」。吉紀さんと学生たちが知恵を絞ります。邑のこれからに、大きな期待が集まっています。

❶町内会と子ども会あげて種を蒔き、満開になったコスモス畑。コスモスの季節、駐車場案内などで邑人は忙しい。
❷害虫を火におびき寄せ、田んぼを守る「虫送り」の行事。黒い山の稜線に濃紺の空、ぽつぽつと灯る火が、殿地区の夏の夜を彩ります。
❸/❹高いやぐらの上から龍勢が打ち上がる大迫力と、次々に繰り出す火の芸術は見ものです。落下傘を開き着地した龍勢を回収するところまで、邑人たちの仕事です。

伝統文化の息づく邑 コスモスの新たな風物詩も

殿（との）　邑番号 55

藤枝市岡部町殿

●車／東名高速焼津ICから県道209号線を北へ約20分、新東名高速藤枝岡部ICから県道209号線を北へ約10分
●電車・バス／JR藤枝駅から静鉄バス中部国道線「藤枝市役所岡部支所バス停」下車、藤枝市自主運行バスに乗り換え「殿バス停」下車

地域の行事は手作り 大人も子どもも楽しむ

旧東海道・岡部宿からなだらかな山道を走ると、のどかな田園風景が開けます。朝比奈城跡の足元にある殿地区では、害虫駆除の意味を持つ「虫送り」の行事や、戦国時代の「のろし」が起源とされる「朝比奈大龍勢」といった伝統が大切に受け継がれています。

地域一帯がピンク色に染まった10月中旬。休耕田に、子どもからお年寄りまで邑人あげて種を蒔いたコスモスが咲きほこっています。週末には大勢の見物客が訪れ、邑人たちはコスモスの切り花や産直売り場の切り盛り、駐車場の案内などで大忙しです。

田園風景を守るのが、毎年8月に行われる「虫送り」です。「飛んで火に入る夏の虫」の習性を利用したこの風習を今も伝えているのは、県内でも貴重です。使い古した竹や枝を直径30～40センチメートル、長さ2メートルほどに束ねた大たいまつが、点々と並ぶ田んぼのあぜ道を、夕暮れ時、邑の子どもたちが掛け声をかけながら火を灯していく光景は、郷愁を誘います。最後に総善寺で虫供養をしてもらい、子どもたちも「これでおいしいお米がたくさん収穫できる」と理解しているようです。

このコスモス畑と山の緑を背景に繰り広げられる、2年に1度の「朝比奈大龍勢」があります。ロケットのように白煙を上げて打ちあがり、次々と落下傘や花火が出て芸を見せる龍勢も、邑人たちが竹の先に火薬とさまざまな仕掛けを施し手作りするというから驚きです。伝統も新しい行事も皆で手作りし、楽しんでいる邑です。

邑びと Voice

郷土に対する愛情が溢れる
「美しく品格のある邑」の
キーパーソンに、
今後の夢や目標を語ってもらいました

地域みんなの力を合わせて訪れる人の心を癒やしたい

水田環境が良くない十足地区では、昔から田植えや稲刈りなども共同作業で行ってきました。今は、高齢などにより農地整備活動に参加できる邑人の数は減少気味ですが、その精神はまだまだ残っていると思います。今後も、来訪者の心を癒し、ハイキングなどを楽しんでもらえるような美しい邑を、未来に残していきたいですね。

12十足（伊東市）
小川 康仁さん

十足部農会長、十足農地と水辺の会副会長。15年前から小川ファームを展開。とれたての珍しい野菜やミニ野菜は地元の一流旅館やレストランなどで高い評価を得ている。

伊豆南部を盛り上げるには「賀茂は一つ」の思いが大切

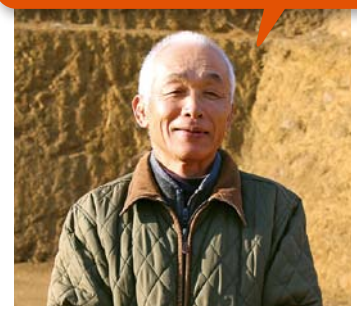
賀茂郡は東・南・西伊豆地域の５町からなりますが、大切だと思うのは「賀茂は一つ」という考え。特に観光産業は、「南伊豆だけ良ければいい」では先細るだけ。例えば、河津で桜を見たらそれで帰るのではなく、南には菜の花、西にはワイルドフラワーもある…と賀茂でスクラムを組みネットワークを良くすれば、伊豆での滞在者が増え、全体が潤うはずですから。

07日野 元気な百姓達の里（南伊豆町）
鈴木 欣也さん

南伊豆町出身。元農協職員で南伊豆町農業振興会の前援農支援センター部会長として菜の花畑事業に尽力。現在は南伊豆町農業委員会会長。趣味は音楽鑑賞と桜や野生の花の観賞。

新プロジェクト『天空の里「下大沢」』でさらなる活性化を

「美しく品格のある邑づくり」は、今まで『山里会』の活動が主でしたが、最近新たに下大沢地区として『天空の里「下大沢」』を立ち上げました。これは、住民の有志が協力員として知恵を絞り、地域にある宝を掘り起こして邑を守ろうという組織。高齢化で状況は厳しいですが、最終的には地域産業化まで持って行けるよう、急がず慌てず、やっていきたいです。



01下大沢（下田市）
山田 豊秋さん

下大沢出身。JA退職後に実家のミカン園を継ぎ、様々な品種を生産。現在はアボカド栽培にも挑戦中。アケビと下大沢をこよなく愛し、山里会の中心メンバーとして地域活性化に尽力する。

先人たちの努力を子どもたちに繋ぎたい

農道の整備、排水路の整備など、先人たちが努力して、優良な農村環境を作ってきました。お陰で今でも豊富な作物が育ちます。その大切な土地をこれからも守っていきたいと思っています。そして次の世代の子供たちが将来農作物に親しみを持ち、同じ思いを持ってもらえるよう、地道に活動を続けていきたいです。

92大塚地区（浜松市）
鈴木 康充さん

大塚愛郷会会長。大塚町に生まれ暮らして80年。半世紀以上農業を営みながら、土地改良の役員を務めるなど、長年地域振興に携わってきた。

みんなが「いいな」と思ってくれる地になれば

コスモスの季節は、たくさんの来場者で大変だけど、おかげでこの地はいいなと、皆の意識が変わってきました。活気があふれて、皆楽しんでやっています。毎年の豊作を祈っての虫送り、男衆の「血が騒ぐ」龍勢なども、大人の様子を見て子どもたちが自然と受け継いでくれるように思います。

55殿（藤枝市）
大石 久志さん

殿ふるさと会会長。田園の保全活動に加え、小学生に田植えや稲刈り、「虫送り」でたいまつに火を灯すトーチの作り方などを指導。

美しい茶畑を残し魅力ある大代をつくりたい

生まれ育った梅ヶ島が大好き。大代は、雲の上の天空の隠れ里ですよ。過疎の問題を抱えているけれど、自分が残ることで、孫の代には同級生がいるような邑にしてあげたい。このきれいな茶畑を守るためにも、魅力ある大代を作るべく、学生たちと一緒に模索しているところです。

63大代（静岡市葵区）
志村 吉紀さん

梅ヶ島 志村農園園長。Uターン後、しいたけ狩りとバーベキュー場を始め、6次産業化にも取り組む。

静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員

小谷あゆみの「むらレポ」Vol.3

ほっと龍山 山を耕して宝に変える人々

小谷あゆみ

フリーアナウンサー／農業ジャーナリスト 野菜をつくるベジアナとして農ある暮らしの豊かさを提唱。全国の農村を取材。NHKEテレ「ハートネットTV 介護百人一首」司会、ブログ「ベジアナの野菜畑チャンネル」で食と農に関わる情報を配信中。静岡県ふじのくに美しく品格のある邑づくり推進委員

赤芽芋栽培やふるさと再訪交流事業などで地域の暮らしを支える「ほっと龍山」のみなさん

天空に浮かぶ芋畑 ここにしかない眺め

天竜川の上流に位置する（旧）龍山村は、平成17年の合併で浜松市になり、浜松市は日本で2番目に大きな市となりました。

龍山の人たちは自分たちの村らしさを忘れないで誇りを持っていきいき暮らすために「NPOほっと龍山」を立ち上げました。切り立った山あいの集落に田んぼはありません。石垣を積み上げ、家や茶園が点在しています。

「ほっと龍山」では、高齢者の見守り宅配や移動販売のほか、在来作物で特産品を作ろうと「赤芽芋」を栽培しています。段々畑の一角で、代表の鈴木政成さんはじめ男性9人が芋掘りをしていました。茎の根元を鎌でスパッと切り、クワで掘り出します。そっと持ち上げると、親芋子芋がひしめきあってずっしり。地元で昔から愛されてきた「赤芽芋」は収量が多くホクホクしたサトイモの一種です。

できのよい赤芽芋をいくつか選んで畑の隅に埋めておきます。来年の種芋にするのです。埋め戻す前に杉の枝と葉っぱを芋の上にかぶせると、杉の葉のチクチクが、ネズミやもぐら除けになるそうです。山の資源を生かした知恵ですね～。

「天空に浮かぶ芋畑！だけど急な斜面で大変ですね～」思わず尋ねると、「見晴らしがよくて気持ちいいでしょう～！」とさわやかに答えてくれました。龍山のみなさんには、ふるさとのよい面を見ていこうとする気概がありました。

邑番号 98

ほっと龍山

ほっとたつやま

浜松市天竜区龍山町戸倉233-3

●車／東名高速袋井ICから約20分、東名高速磐田ICから約20分

●電車・バス／西鹿島駅から遠鉄バス・二俣 山東 水窪町行き（45分）→「龍山協働センター前」下車→徒歩（10分）

「ドラゴンママ」ブルーベリージャムやおちゃメロンぱんが人気!

天空ハウスのチンゲンサイとブルーベリーおいしいよ♪ 沼野ふさ子さん

むらまるごと遊び場!龍山秘密村へ遊びに来てね♪

邑の人間国宝～!藤原久一さん(87)

種イモの上に杉の葉を被せます

「瀬尻の段々茶園」（静岡県棚田等十選に選定）

赤芽芋コロッケなど山の恵み盛りだくさんのお弁当

なずな工房のみなさん

赤芽芋の串芋。秘伝のみそだれが決め手!

赤芽芋の食べ方はなんといっても串いも！永源寺さんの母屋の一角「なずな工房」で、ゆでた赤芽芋を串に刺し、秘伝の味噌だれで焼いていただきまーす。甘辛い味噌だれがホックホクのお芋にからまり、ショウガや柚子も効いてごはんにもお酒にも合う合う～！

耕して天に至る茶園 邑の人間国宝さん決定

龍山には静岡県棚田等十選に選定されている「瀬尻の段々茶園」という石積みの茶園があります。0.4haの敷地に40枚、階段状に連なる畑の幅は1メートルほどで、足を踏み外さないよう歩くのも緊張する断崖の茶園です。途中まで登るとみるみる下にいる人が小さくなり、すごい！高い！空が近～い！先人の知恵と技に感動と興奮が隠せません。

下まで戻ると、なんとこの石積みを築いた張本人！藤原久一さん（87歳）がいらっしゃるではありませんか。昭和13年から何年もかけて家の衆だけで積み上げたと話してくださいました。今を去ること78年、久一少年9歳から14歳の6年間、来る日も来る日もご家族で石を積み上げてきた暮らしを思うと…。しかも今まで1度も崩れたことがないというのですから、これが叫ばずにいられますか。「久一さんは人間国宝です！」

耕して天に至る。山あいの小さな農村を訪ね歩いて感じることは、人間の知恵と生きる力。藤原久一さん、「ふじのくに美しく品格のある邑の人間国宝さん」に決定です。おめでとうございます♪

インタビュー

Interview

「美しく品格のある邑」に魅せられた人びとに、そこでの活動や魅力について聞いてみました。

水がよければ人もよい 邑を元気にする アイデアマン

清沢地区自治会連合会 会長 ◇尾崎行雄さん

「清沢」の名の通り、藁科川の清流に恵まれた自然豊かな邑。静岡市街地から約30分のところから、川根本町と接する標高約800mの高地まで広域にわたり、アユやマス釣り、ホタルの舞う川辺、富士山の展望、おいしい水とおいしい作物など、魅力がいっぱいです。「水がよけりゃ人もよい」と言われる邑の人びとは穏やかですが、新たな作物の栽培や新商品開発に乗り出すなど、積極的な一面も。そんな邑を引っ張るのが、同地区自治会連合会長の尾崎行雄さんです。

11月13日に、清沢小学校で開かれたふるさと祭りでは、邑でとれた野菜や加工品がずらりと並びました。「清沢レモン」という爽やかなイメージで売り出すレモンの栽培は、野生動物による被害が少ないということで始まったそうです。「無農薬なので果汁だけでなく皮も使い、ドレッシングなどに応用できる〝ぶっかけレモン〟やキャンディ、練り香水などを商品化しています。また、畑を荒らしに来るイノシシは、肉を使ってコロッケや肉まん、カレーに。在来品種を使った黒ニンニクなど、開発中の商品もたくさんあります」と尾崎さん。アイデアは尽きません。

外へのアピールだけでなく、コミュニティ作りにも積極的です。伝統文化の神楽の継承、父親たちの子育てグループといった取り組みのほか、今年は邑に住む中学生以上の1000人を対象にアンケートを実施。邑で必要とされている物や邑への思いを調査して皆で共有し、よりよい邑を作ろうとしています。

「〝レッツ縁ジョイきよさわ〟を合言葉に清沢を楽しんでほしい」と尾崎さん。地域の絆を大切にしながら進取の気性にも富む邑人たちの表情は笑顔で輝いています。

子ども園の前で、邑の散策マップを手に持つ尾崎さん。園児たちから次々と「尾崎さーん!」と声をかけられます。

清沢 きよさわ　邑番号 40

静岡市葵区昼居渡66-2（清沢交流館）

●車／静岡駅から国道362号を安西方面に向かい、安西橋から13km（静岡駅から約30分）

●電車・バス／JR静岡駅からしずてつジャストライン・藁科線「きゅうのお」行きで約40分、「昼居渡（ひるいど）」下車

1. 棚田では、農薬や肥料を使わず、雑草も“敵”としない「自然農」の方法を取り入れています。おかげでこの辺りの水辺には夏、ホタルが舞います。
2. 川底までくっきり見える清流。アユやニジマスが釣れ、浅瀬では夏に子どもたちが川遊びも。
3. 邑のさまざまな活動の拠点である「きよさわ里の駅」。地場産品を使った商品の開発、販売もしています。
4. 高地の畑を利用して在来ソバも栽培されています。小学生がソバを収穫しているところに遭遇。乾かして実を取ったら、邑の人から教わって蕎麦打ちもするそうです。

5. 清沢小学校で開催された「清沢ふるさと祭り」。邑人だけでなく静岡市街地などから訪れる人もいて、にぎわっていました。
6. 邑に伝わる在来種のニンニクを使って売りだした黒ニンニク。「パワーが出るよ!」。
7. 「清沢ふるさと祭り」で邑の農産物や加工品をPRする尾崎さん。

無形文化財の「清沢神楽」は子どもたちも毎週稽古に励んでいます。ふるさと祭りでは、舞・太鼓・笛の成果を発表してくれました。

2

1

3

1. 4つの地区からなる中郡地区。それぞれの自治会長が中心となり、「けっこい中郡」の活動予定などを決めていきます。
2. けっこい中郡のメンバーは、総勢70名ほど。ほとんどが農業初心者でしたが、力を合わせ、立派な農作物が収穫できるようになりました。
3. ソバの普及活動の一環として、毎年ソバ打ち体験会を実施しています。

中郡で獲れた菜種を精油した「なの花便り」

環境は皆のもの 誰かが守っていかないと

◇けっこい中郡会長 村木正彌さん

都市と農村が混在する浜松市では、年々増加する耕作放棄地を有効活用し、景観を保全しようとする活動が顕著です。邑人たちは、花を植えたり、作物を育てたりと、思い思いの方法で故郷の環境を守っています。

「始めた頃は皆、70歳そこそこだったけどね、今は80歳前後になっちゃたよ」

東区の中郡地区で活動を続ける「けっこい中郡」の会長、村木正彌さんは、会の10年の歩みをそう振り返ります。同地区で行われているのは、ソバと菜種を中心とした農作物の栽培。晩秋、ソバの収穫の時期になると、真っ白な花が邑を彩ります。

「最初は単に花を植えたんだけど、どうせなら食べられた方がいいだろうと、秋はソバ、春は菜種をやり始めたんです。皆、ボランティアでやってくれるので、何か楽しみがないと、長くは続きませんからね。農地には区切りがあるけど、環境は皆の物。誰かが守って、続けていかないといけませんから」

収穫したソバは地元の「天竜そば」が買い取り、残りは地域で分け合っています。けっこい中郡の呼びかけにより、浜松市内で同じようにソバを育てている邑が集い「そば部会」も結成されました。会では栽培方法などを情報交換し、質を上げています。

「ここでソバを作ってるともっと知ってもらって、一帯がソバの産地になればいいと思ってる。希望はまだ捨ててませんよ。そのために色んな活動して、楽しみながら分かち合って、若い人に受け継いでいければいいと、考えているんです」

中郡地区

なかごおりちく

浜松市東区中郡町684-1
（浜松市老人福祉センター 竜西荘）

- 車／東名高速浜松ICから約15分
  新東名高速浜松浜北ICから約30分
- 電車／遠州鉄道「新浜松」から18分、
  「遠州西ヶ崎」下車徒歩5分

上長窪地区

かみながくぼちく

長泉町

●車／東名高速沼津IC、新東名高速長泉沼津ICから約10分

●電車・バス／JR御殿場線下土狩駅から富士急シティバス・桃沢郷行「上長窪」下車

県内外を結ぶ交通の要衝の豊かなくらし

愛鷹山麓は先史時代の遺跡の宝庫と言われ、上長窪地区も同様に、古い歴史のある邑です。周辺には植物園や美術館、文学館があり、また、遊休農地を活用して近隣の園児に稲作や蕎麦栽培・蕎麦打ちの体験を積極的に行うなど、学びの機会にあふれています。愛鷹山麓が原産と言われる「四ツ溝柿」は、名前の通り4つの溝が入った独特な形の渋柿で、10月から11月に旬を迎え、12月に出荷されます。干し柿としても親しまれていますが、渋抜きをすれば甘柿よりも糖度が高く、緻密な果肉の歯ざわりが格別です。

池の谷・閑蔵

いけのや・かんぞう

川根本町

●車／東名高速吉田ICから約95分
新東名高速島田金谷ICから約75分

●電車・バス／JR金谷駅から井川線南アルプスアプトライン（75分）「土本」下車、徒歩25分

自然とお茶と人の優しいもてなし

全7戸から成る小さな集落ですが、徒歩圏内には日本で唯一のアプト式鉄道が通る土本駅があります。住民たちで道路や水道の管理をするほか、自然の地形を生かした「池の谷ファミリーキャンプ場」の運営を行っており、年間1～2千人の利用者が訪れます。必要最小限に抑えられた設備や、野鳥のさえずりで朝を迎える事ができる自然そのものの魅力がキャンパーに好評で、およそ7割がリピーターと言われています。また、茶園の管理作業に援農のボラバイトを受け入れており、人手不足解消と都市農村交流に貢献しています。

東山口・西山口

ひがしやまぐち・にしやまぐち

掛川市

●車／掛川ICから東山口地区（約15分）

●電車・バス／JR掛川駅から掛川市自主運行バス・東山線「東山口小学校」下車（約25分）

「農」の喜びを後世に伝える

毎年2月下旬から3月下旬に開催される「掛川梅園こちの里梅まつり」が邑最大のイベントで、この時期「南高」「白加賀」「改良内田」の3種類の白梅およそ430本が見ごろを迎えます。掛川茶やおしるこの無料サービスや地場産品の販売、フリーマーケット、さらにバンド演奏など、様々なイベントが行われます。梅干しの予約販売も受け付けています。また、子供から大人までが農作業を通して触れ合う農業体験も盛んに行われており、農村ならではの温かな魅力にあふれています。

豊かな土地をフル活用した活力ある農村

町の7割が森林で、南西部の平野に広がる肥沃な水田は、太田川の豊かな流れの恩恵を受けています。この水田では、「水田3倍活用農法」が採用されており、水稲、レタス、スイートコーンをローテーションして1年中品質の高い農産物が生産されています。特に、冬期レタスは全国一の品質を誇り、水稲が終わると一斉に出現するレタスのビニールトンネルは圧巻です。
また、神社仏閣が多く、遠州の小京都とも呼ばれています。

森町南部

もりまちなんぶ

周智郡森町

●車／東名高速袋井ICから約15分、磐田ICから約20分、新東名高速森掛川ICから約5分

●電車／天竜浜名湖鉄道「円田」下車

故郷を盛り上げる住民の熱い思いと強い絆

北遠天竜の奥座敷とよばれ、地元組織「大栗安棚田倶楽部」の活動によって守られている棚田と共に、山村の原風景を味わうことができます。「道の駅くんま水車の里」では、年間を通して様々なイベントが行われています。2016年の早秋には、初の試みとして「かかしコンテスト」が開催されました。コンテスト終了後のかかしは、棚田に移動して収穫までみんなの田んぼを守りました。10月から4月にはこんにゃく作り体験ができ、2月には大寒謝会が開催されます。大寒謝祭では名物の「しし鍋」と「そばちゃんこ」が無料で振る舞われ、人気イベントの早食い競争やパフォーマンス披露なども行われます。

夢未来くんま

ゆめみらいくんま

浜松市天竜区熊1976の1

●車／東名浜松ICから天竜方面へ約30分、鹿島橋手前の信号を左折、県道9号線を約30分
新東名浜松浜北ICより40分

●電車・バス／JR浜松駅から遠州鉄道西鹿島線に乗り換え「西鹿島」下車（32分）→遠鉄バス・くんま水車の里行きで終点下車（約40分）、徒歩すぐ

日本で最も美しい村連合フェスティバルinまつざきが開催されました!

10月6日（木）～8日（土）、松崎町農村環境改善センターなどにおいて、「日本で最も美しい村連合フェスティバルinまつざき」が全国各地の「美しい村」から約400名が参加して、盛会に開催されました。フェスティバルでは、川勝平太知事の「美しい村づくりから美しい国づくりへ」と題した基調講演、静岡県棚田等十選「石部の棚田」への現地視察、「ふじのくに美しく品格のある邑パネル展」などが行われました。
全国で68の町村・地域が認定される「日本で最も美しい村」には、県内は松崎町と川根本町が登録されています。

1/3 (火)

田遊び祭

一年の豊作を祈願する神事芸能

小國神社
周智郡森町一宮3956-1 ※駐車場あり
問小國神社 ☎0538-89-7302

邑番号 82 西部

1/3 (火) 13:00〜18:00

伝承される寺野の民俗芸能「ひよんどり」を観る

400年にわたって人々に伝えられてきた、国指定重要無形民俗文化財を鑑賞

開催場所／宝蔵寺観音堂
※集合場所／てんてんゴーしぶ川
浜松市北区引佐町渋川（集合場所／てんてんゴーしぶ川）
※駐車場あり 問NPO法人 大好き渋川 ☎053-545-0452

大好き渋川 邑番号 87 西部

1/6 (金) 応募締切

全域

第2回静岡県農村の魅力フォトコンテスト

「農村の美を感じる瞬間」をテーマに作品募集中。過去3年以内に静岡県内で撮影した未発表の写真が対象

問静岡県土地改良事業団体連合会
☎054-255-5151
●詳細はインターネットで検索『静岡県農村の魅力フォトコンテスト』からダウンロード

1月上旬〜2月中旬

蝋梅（ろうばい）見頃

蝋梅の花が見頃を迎えます

アクティ森
周智郡森町問詰1115-1 ※駐車場あり
問アクティ森 ☎0538-85-0115

天方 邑番号 81 西部

1/21 (土)

子どもカルタ大会

ふるさとカルタを活用し、小中学生が合同で行います。中学生が読み上げます

田原交流センター
磐田市三ヶ野1045-3 ※駐車場あり
問田原交流センター ☎0538-35-4269

田原地区 邑番号 68 西部

12/10 (土) 10:00〜13:00

ハムづくり体験＆サンドイッチで肉製品を味わう会

香辛料だけで作るハムづくり体験とサンドイッチの軽食

とんきい 浜松市北区細江町中川 ※駐車場あり
問(有)三和畜産 豚屋とんきい ☎053-522-2969
●体験料：2,000円、定員：30名（最少催行人数10名）
※受付：開催日の5日前まで

三ヶ日のふるさと中川 邑番号 86 西部

12/10 (土) 11:00〜15:30

第5回みんないっしょに! すココン祭

伝統行事「すココン」を現代風にアレンジ。懐かしい遊びやステージなど、年代を超え、楽しい一日を過ごしましょう

雄踏文化センター
浜松市西区雄踏町宇布見5427
※駐車場あり
問地域活性化プロジェクト らびりんすゆうとう（吉田和子）
☎053-592-1034

らびりんすゆうとう 邑番号 100 西部

12/11 (日)

みかん収穫体験

27種、370本のみかんがある「ふるさとみかん山」で収穫体験ができます

ふるさとみかん山
藤枝市岡部町内谷1400-1付近
問福祉センター「きすみれ」 ☎054-667-3144
●対象／藤枝市在住・在勤者
●定員／70名

岡部本郷 邑番号 57 中部

12月〜3月

冬レタスのビニールトンネル風景

景観賞にも選ばれた田園風景が広がります

森町南部全域
問森町役場産業課 ☎0538-85-6316

森町南部 邑番号 80 西部

1/1 (祝)

新茶熟成茶の呈茶

八十八夜の新茶を氏神へ奉納し熟成させたものを初詣の氏子に呈茶します

座王神社 川根本町下長尾2178
問瀬平けっこにせっ会（事務局長 原田）
☎0547-56-0681／090-7858-6358 ●無料

けっこい瀬平 邑番号 65 中部

1/1 (祝)

初詣

大晦日から多くの初詣客で賑わいます

小國神社
周智郡森町一宮3956-1
※駐車場あり 問小國神社 ☎0538-89-7302

一ノ宮の里 邑番号 82 西部

Event Calender

邑のイベントカレンダー

＊ 2016-2017 winter ＊

12月 December

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23 天皇誕生日	24
25	26	27	28	29	30	31

1月 January

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1 元日	2 振替休日	3	4	5	6	7
8	9 成人の日	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

2月 February

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 建国記念の日
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 富士山の日	24	25
26	27	28				

あなたのご意見をお聞かせください

〒420-8601
静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課
FAX 054-221-2809
E-mail：
nouchihozen@pref.shizuoka.lg.jp

※ご意見とともに、住所・氏名・電話番号・年齢をご記載ください。
※頂いたご意見は次号以降で掲載させていただく場合があります。
※個人情報は、連絡のため以外には使用いたしません。

2/5(日)
ぼたん祭り
猪肉コロッケ、猪肉まん、猪肉おでん販売ほか

清沢 邑番号40 中部

きよさわ里の駅 静岡市葵区相俣200
問きよさわ里の駅 ☎054-295-3783

2月
水かけ菜の収穫
湧水で栽培されたと特産の水かけ菜を加工した水かけ菜漬が地域で販売されます

所領 邑番号30 東部

地域内の農産物直売所等
駿東郡小山町所領

2月～3月
梅や河津桜が見頃
富士山の絶景スポットで梅や河津桜が咲き誇ります。「平成棚田ノルディックウォーキングコース」に設定されています

白糸の里 邑番号33 東部

原川親水公園 富士宮市原

毎月第1(日)・第3(日)
大間縁側お茶カフェ
集落の農家さんが自宅の縁側を開放してお茶カフェを開催

興津川・大川 邑番号42 中部

静岡市葵区大間
※福養の滝駐車場を利用
問小櫻 ☎054-291-2657

毎月第3(日) 9:00～9:30
恩地町みどり朝市
地元の農産物販売

地域いきいき共生！恩地町環境みどり会 邑番号83 西部

恩地町公会堂広場
浜松市南区恩地町443 ※駐車場あり
問地域いきいき共生！恩地町環境みどり会
☎053-426-2888(代表 見野)

通年
竜ヶ石山ハイキングコース
標高359.1m、棚田と遠州灘のコントラスト

竜ヶ石山～西四村の里 邑番号94 西部

竜ヶ岩洞付近
浜松市北区引佐町田畑193付近
※駐車場、オープンデッキ、トイレあり
問里山元気もりもり隊 西四村ふるさとの会
☎053-543-0605(代表 戸田)

2/10(金)～3/10(金)
みなみの桜と菜の花まつり
5.8haの菜の花畑一面の菜の花が見頃

日野元気な百姓の里 邑番号07 伊豆

南伊豆町湊地内 ※駐車場あり
問南伊豆町観光協会 ☎0558-62-0141

2/18(土)・19(日)から始まります！
桜まつり
約800m400本の河津桜が満開。地元の農産物販売あり

和地ふるさと会 邑番号84 西部

桜川堤防沿い
浜松市西区大山町 ※駐車場あり
問和地ふるさと会(山下) ☎053-486-0089

2/19(日)
第23回「大寒謝祭」
しし鍋、五平餅、特産品が勢揃い

夢未来くんま 邑番号85 西部

水車の里ふれあい広場
浜松市天竜区熊 ※駐車場あり
問NPO法人 夢未来くんま(代表 大石)
☎053-929-0636

2/19(日)～3/12(日)
伊豆月ヶ瀬梅林梅まつり
天城連山を一望する梅林に1500本の梅が咲き誇る雄大な梅の宴

伊豆月ヶ瀬梅の里 邑番号13 伊豆

伊豆月ヶ瀬梅林
問伊豆月ヶ瀬梅組合 ☎0558-85-0480

2/26(日) 9:00～
歩いて森林浴！ 森林散策体験会
天竜区横川地区の森林散策

いっぷく処横川
浜松市天竜区横川3085 ※駐車場あり
問横川生産物直売所利用組合(小沢)
☎053-924-0129
●参加費／100円(保険料を含む)

いっぷく処横川 邑番号95 西部

2月
グラウンドゴルフ大会(1泊2日)
地域内外の人との交流

さささ 邑番号52 中部

山村都市交流センターささま
島田市川根町笹間上394
問山村都市交流センターささま(北島)
☎0547-54-0661

1/21(土)・22(日)
新そばまつり
地元はもとより、福島県等、各地域自慢のそばが集合

佐久間ふるさとづくり佐久の里 邑番号96 西部

佐久間協働センター
浜松市天竜区佐久間町佐久間 ※駐車場あり
問NPO法人がんばらまいか佐久間
☎053-965-1100

1/22(日)
鎮玉の紙をつくろう
紙すき体験に挑戦

ひずるしい鎮玉 邑番号99 西部

浜松市北区引佐町的場
浜松市北区引佐町的場
問ひずるしい鎮玉 ☎053-544-1045

2/1(水)～
絶景☆富士山 まるごと岩本山
咲き誇る梅と桜、高台から眼前に広がる富士山との絶景

岩本山と竜ヶ石山を行き来する里 邑番号36 東部

岩本山公園 富士市岩本1605
問富士市振興公社公園事業課 ☎0545-55-3553

2/3(金)
節分祭
年男年女の奉仕者による豆まき行事

一ノ宮の里 邑番号82 西部

小國神社 周智郡森町一宮3956-1
※駐車場あり 問小國神社 ☎0538-89-7302

2/5(日)
山の講 餅つき体験
餅つき体験と草餅づくりと草餅の即売

いっぷく処横川 邑番号95 西部

いっぷく処横川
浜松市天竜区横川3085 ※駐車場あり
問横川生産物直売所利用組合(小沢) ☎053-924-0129

2/5(日) 9:30～14:00(予定)
第8回上野の里まつり 酒蔵めぐり2017
富士山麓・南条の里を含む上野地区3拠点を巡り新酒や地元のグルメを楽しめます

南条の里 邑番号34 東部

富士正酒造(上野蔵)、牧野酒造、土井ファーム
富士宮市下条
※駐車場あり
問富士宮市観光協会
☎0544-27-5240
※詳細はWEBにて随時公開
http://uenohills.com

2/5(日)
田原芸能まつり
地域芸能活動の発表会

田原地区 邑番号68 西部

田原小体育館
磐田市三ヶ野1030-1 ※駐車場あり(田原交流センター)
問田原交流センター ☎0538-35-4269

季刊誌「むらのいろ」
vol.12
2016
冬

しずおか 農山村サポーター むらサポ 募集

はじまっています！
あなたと農山村が
いきいきつながる世の中が。

フォトコンテストの募集をしたら「むらサポ」経由の応募が増えました！（邑びとAさん）

他の邑の活動を知ることでアイデアが広がります！交流や協働もできたらいいな。（邑びとBさん）

「むらサポ」のメルマガで見て、みかん収穫体験に参加。子どもも大喜びでした！（登録者Cさん）

つながりたい！と思ったら［むらサポ］にご登録ください。

- 農山村の祭りやイベント、おいしい食べ物など、旬な情報満載のメールマガジンをお届けします。
- 静岡県の美しく豊かな農山村を守る地域の取組を紹介します。
- 地域とともに魅力的な農山村を創るボランティア活動の情報をお届けします。

［しずおか農山村サポーター“むらサポ”とは？］ 静岡県の農山村をみんなで守り、盛り上げていこうというサポーターズクラブです。

農山村の皆さまからの旬な情報もおまちしています！

「むらサポ」情報登録フォームからエントリーしてください。

農山村の情報あれこれ × みんなの活動いろいろ ＝ むらサポ 検索

URL：www.shizuoka-murasapo.net/　Facebook：www.facebook.com/shizuokamurasapo/

2016年12月10日発行
●発行／「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合　〒420-8601　静岡県静岡市葵区追手町9番6号
静岡県交通基盤部農地局農地保全課　☎054-221-2714　FAX054-221-2809

ふじのくに 美しく品格のある邑
Charming and Graceful Villages in "FUJINOKUNI"
「ふじのくに美しく品格のある邑づくり」連合
邑の詳しい情報

オフィシャルウェブサイト
http://www.fujinokuni-mura.net
美しく品格のある邑 検索

Facebook
ふじのくに美しく品格のある邑づくり
情報発信チーム『邑ドキッ！』

無料